

## ご挨拶

山梨大学合唱団 団長 小川 優佑

本日は山梨大学合唱団第 77 回定期演奏会を聞きにきてくださり、誠にありがとうございます。  
ます。

合唱は複数の声部が揃わないとつくることのできない音楽です。演者は個人的な想いを歌に込めるといっても、その音を合わせていく中で、自然と湧き起こる感情を歌うという経験をします。

ただ、その音を合わせる作業がとても難しく、日々の練習は 4 つの声部の音を細かく調整して和音にすることから始まります。普段は勉強にバイトに、恋愛に、大学生としての日常を過ごす僕たちは、些細なことで自分の身体という楽器の調子が狂ってしまうのです。望む音が簡単には得られない中、粘り強く歌い続ける仲間がいて、演奏を豊かにする術を慎重に授けて下さった先生方がいます。

演者同士が互いにひとつの曲を通じて、その曲の語る情感もともに共有することができたとき、ひとつの世界が生まれます。自分がここにいるために、この音を奏でるために生まれてきたのだと分かってしまう鮮明な瞬間が訪れます。

僕たちが歌うことに何の価値があるのかと問われても、そのような価値はないのかもしれませんが。お金になるわけでもなく、社会から必要とされるわけでもない。それでもこうして一緒に歌って過ごした時間は確かにぼくの心に残り続け、ぼくを生かしてくれています。わからない、わかり合えないことだらけの日常でも、人と繋がっていけるという感覚を与えてくれます。そして何よりも、一緒にいられて楽しかった。

そんな日々の積み重ねによってできた結晶のような演奏を、オンライン上という形であっても、皆さんに披露できることに感謝します。

僕たちの演奏が皆さんの心の中の懐かしい歌を思い出す一助となれたら幸いです。